

第Ⅲ部 調査結果の詳細

【報告書を読む際の注意】

- (注1) 小数第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が全体の計に一致しないことがある。
- (注2) 「n」は「number of case」の略で、質問に対する回答者の総数を表す。
- (注3) 図中「0」、表中「-」は皆無を示す。
- (注4) 図表中の選択肢は、回答率の高い順に並び替えている場合がある。また、表記の語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (注5) 《 》は、2つ以上の選択肢を合わせて分析する場合に用いる。また、この場合の比率は実際の回答者数の合計から算出しているため、個々の比率の単純な合計とは値が異なる場合がある。
- (注6) 男女の18～29歳などのサンプル数の少ない属性については参考値であり、グラフ上で数値が高いものでも有意差がない場合がある。
- (注7) 【地域別の状況】【性・年代別の状況】の図表では、地域や性・年代が不詳の者がいるため、内訳の合計が全体の回答者数と異なっている。

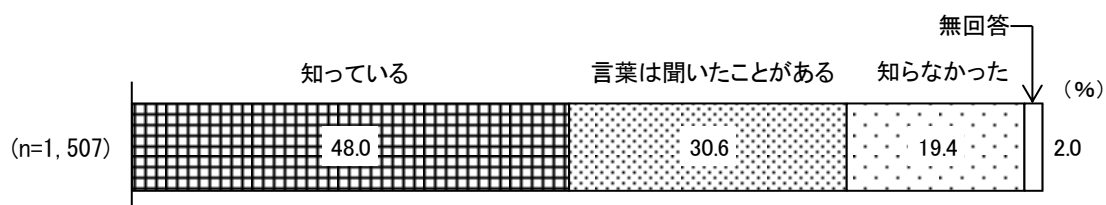
第1章 気候変動への適応【問1～問2-2】

1 「気候変動への適応」の認知度【問1】

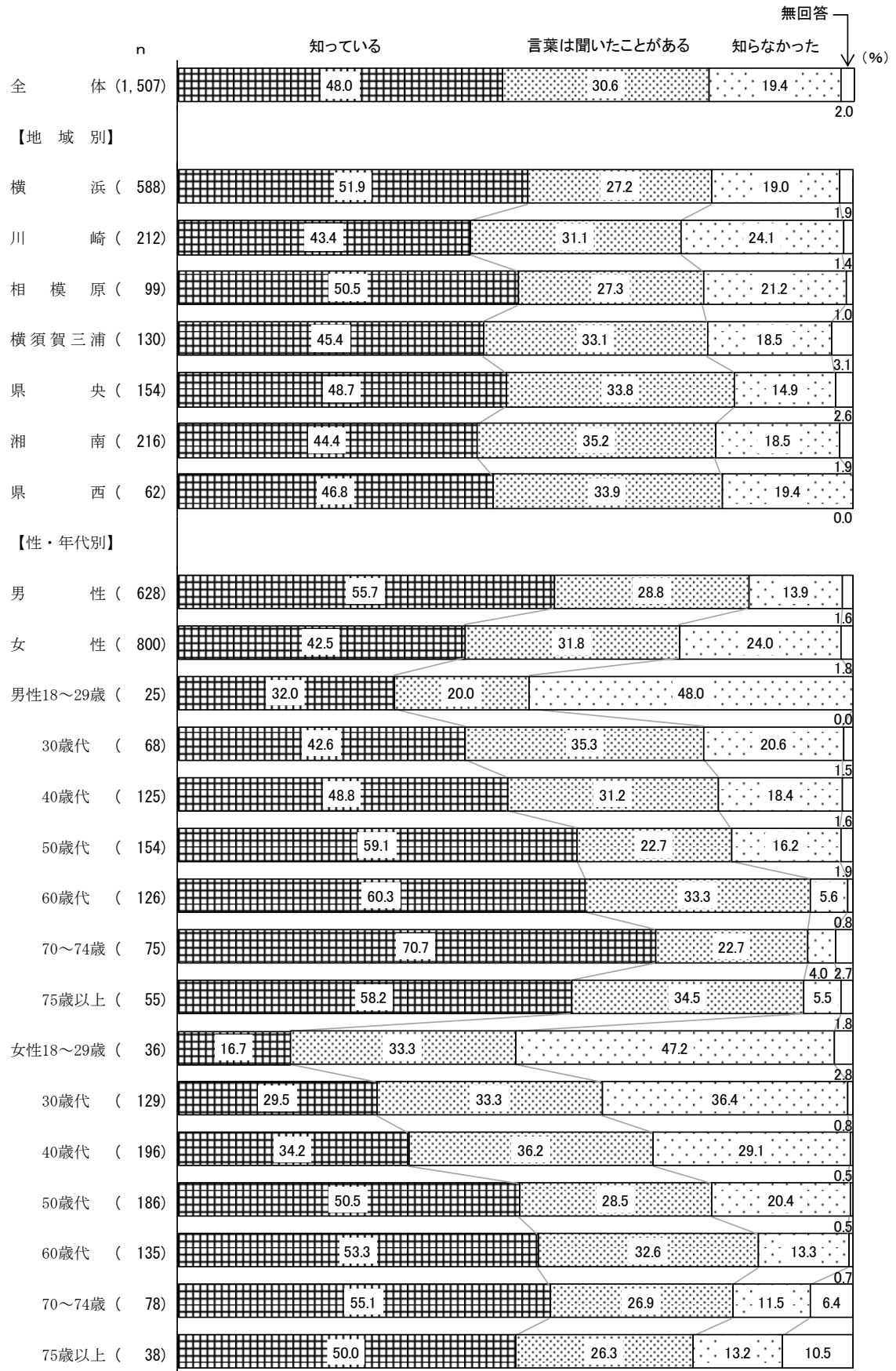
【全体の状況】

「気候変動への適応」について知っているか尋ねたところ、「知っている」が48.0%であった。一方、「知らなかった」は、19.4%であった。(図表1-1-1)

図表1-1-1 「気候変動への適応」の認知度



図表1-1-2 「気候変動への適応」の認知度—地域別、性・年代別



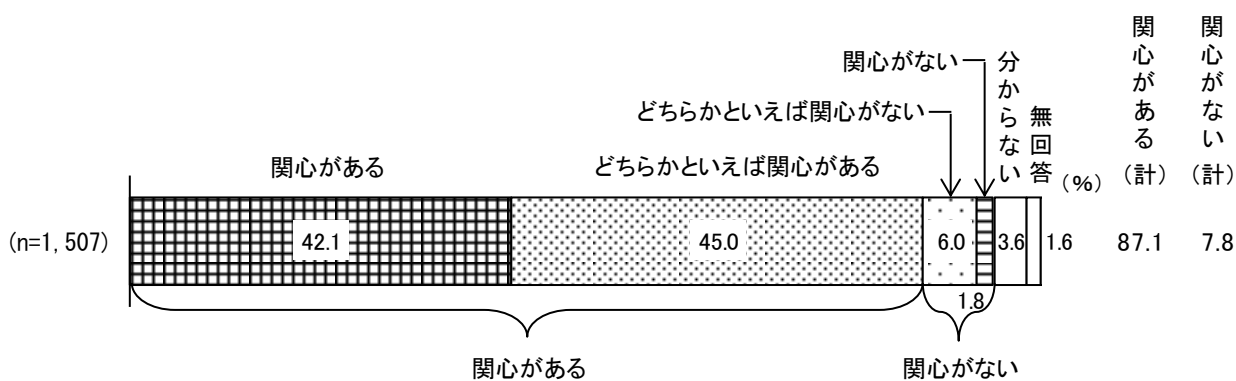
2 「気候変動への適応」への関心【問2】

【全体の状況】

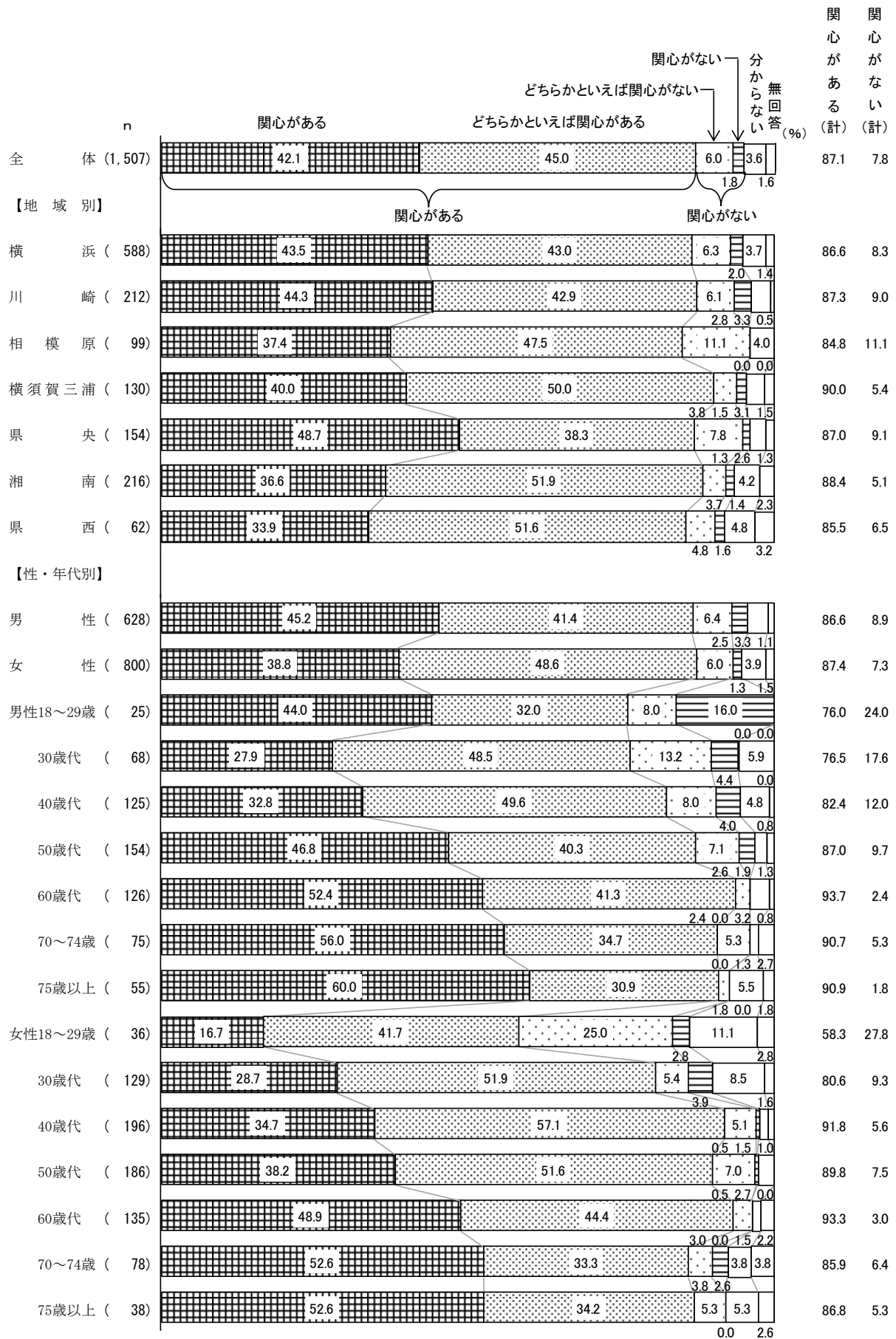
「気候変動への適応」に関心があるか尋ねたところ、「関心がある」(42.1%)と「どちらかといえば関心がある」(45.0%)を合わせた《関心がある》が87.1%であった。

一方、「関心がない」(1.8%)と「どちらかといえば関心がない」(6.0%)を合わせた《関心がない》は7.8%であった。(図表1-2-1)

図表1-2-1 「気候変動への適応」への関心



図表1-2-2 「気候変動への適応」への関心—地域別、性・年代別

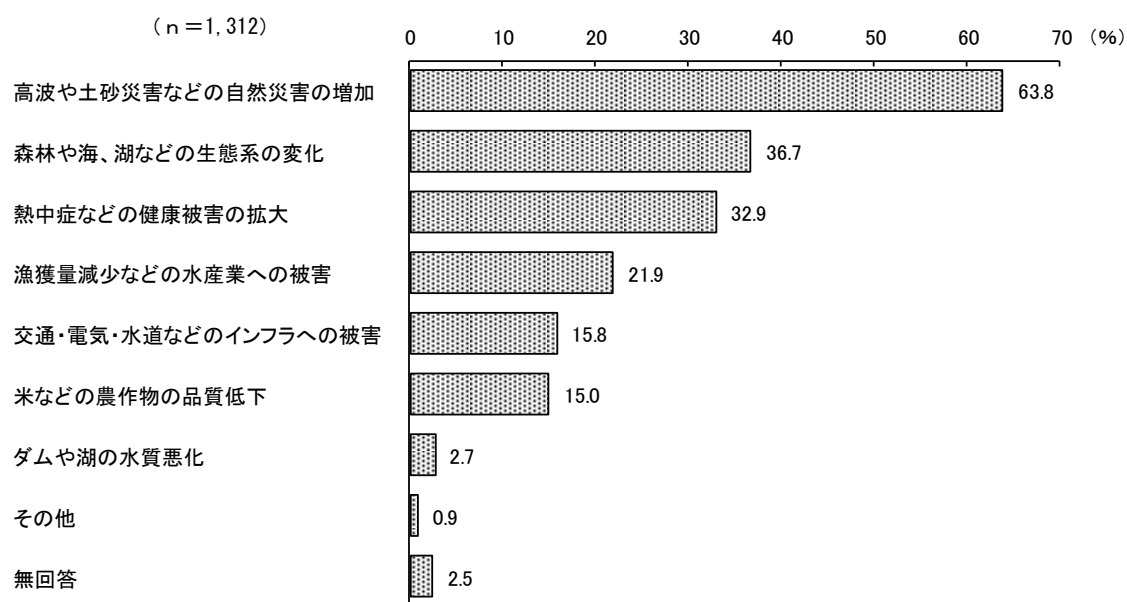


3 「気候変動への適応」の取組みが必要だと思うもの【問2-1】

【全体の状況】

「気候変動への適応」への関心（問2）で、《関心がある》と回答した1,312人に気候変動の影響のうち、特に「気候変動への適応」の取組みが必要だと思うものを複数回答（2つまで選択可）で尋ねたところ、「高波や土砂災害などの自然災害の増加」が63.8%で最も多く、次いで「森林や海、湖などの生態系の変化」が36.7%であった。（図表1-3-1）

図表1-3-1 「気候変動への適応」の取組みが必要だと思うもの（複数回答）



図表1-3-2 「気候変動への適応」の取組みが必要だと思うもの（複数回答）

－地域別、性・年代別

(%)

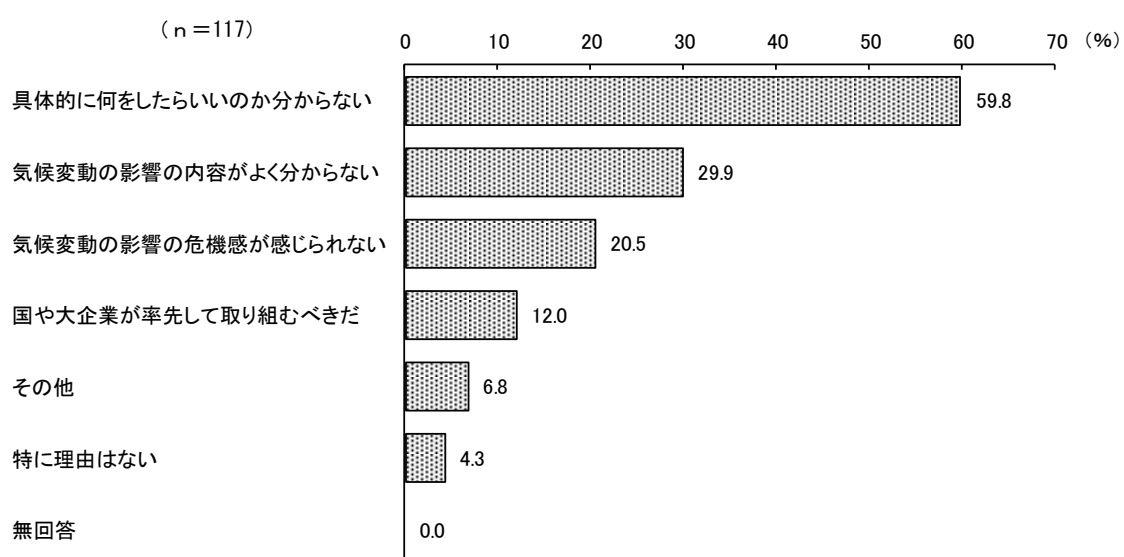
	n	増加 高波や土砂災害などの自然災害の	森林や海、湖などの生態系の変化	熱中症などの健康被害の拡大	漁獲量減少などの水産業への被害	交通・電気・水道などのインフラへの被害	米などの農作物の品質低下	ダムや湖の水質悪化	その他	無回答
全体	1,312	63.8	36.7	32.9	21.9	15.8	15.0	2.7	0.9	2.5
【地域別】										
横浜	509	63.3	36.3	27.9	25.9	16.1	14.7	3.1	0.4	2.9
川崎	185	64.3	40.0	35.7	17.3	15.1	16.8	2.2	2.2	2.2
相模原	84	61.9	32.1	35.7	16.7	19.0	20.2	3.6	1.2	3.6
横須賀三浦	117	65.8	43.6	39.3	16.2	13.7	8.5	1.7	0.9	3.4
県央	134	64.9	35.8	38.8	23.9	15.7	11.9	3.0	1.5	-
湘南	191	61.8	37.2	34.6	19.4	14.7	17.3	3.1	0.5	2.1
県西	53	69.8	24.5	35.8	22.6	24.5	15.1	-	1.9	-
【性・年代別】										
男性	544	62.5	36.0	28.9	25.0	18.0	16.7	2.2	1.5	1.7
女性	699	65.1	38.2	36.2	19.6	14.2	13.4	3.1	0.3	2.7
男性18～29歳	19	57.9	36.8	36.8	21.1	42.1	-	-	-	-
30歳代	52	55.8	25.0	32.7	19.2	25.0	19.2	3.8	1.9	5.8
40歳代	103	57.3	39.8	29.1	25.2	21.4	15.5	2.9	1.9	1.0
50歳代	134	61.2	43.3	28.4	25.4	13.4	18.7	2.2	0.7	0.7
60歳代	118	68.6	33.1	28.8	25.4	12.7	15.3	1.7	2.5	1.7
70～74歳	68	67.6	29.4	23.5	27.9	16.2	25.0	1.5	1.5	-
75歳以上	50	64.0	36.0	30.0	26.0	22.0	10.0	2.0	-	4.0
女性18～29歳	21	76.2	33.3	33.3	14.3	14.3	19.0	-	-	-
30歳代	104	56.7	41.3	37.5	18.3	10.6	20.2	4.8	-	2.9
40歳代	180	66.7	38.3	32.8	22.8	13.3	16.7	2.2	0.6	0.6
50歳代	167	67.1	38.3	36.5	19.8	12.6	9.6	2.4	0.6	4.8
60歳代	126	69.0	39.7	40.5	14.3	15.1	9.5	4.0	-	3.2
70～74歳	67	65.7	37.3	34.3	20.9	17.9	10.4	4.5	-	1.5
75歳以上	33	51.5	27.3	39.4	24.2	27.3	9.1	3.0	-	6.1

4 「気候変動への適応」に関心を持つことが難しい理由【問2-2】

【全体の状況】

「気候変動への適応」への関心（問2）で、「関心がない」と回答した117人に「気候変動への適応」に関心を持つことが難しい理由を複数回答（2つまで選択可）で尋ねたところ、「具体的に何をしたらいいのかわからない」が59.8%で最も多く、次いで「気候変動の影響の内容がよくわからない」が29.9%であった。（図表1-4-1）

図表1-4-1 「気候変動への適応」に関心を持つことが難しい理由（複数回答）



図表1-4-2 「気候変動への適応」に関心を持つことが難しい理由（複数回答）

－地域別、性・年代別

（サンプル数が少ないため参考）

(%)

	n	具体的な何をしたらいいのかわからない	気候変動の影響の内容がよくわからない	気候変動の影響の危機感が感じられない	国や大企業が率先して取り組むべきだ	その他	特に理由はない	無回答
全体	117	59.8	29.9	20.5	12.0	6.8	4.3	-
【地域別】								
横浜	49	59.2	32.7	20.4	8.2	10.2	4.1	-
川崎	19	63.2	36.8	15.8	26.3	-	5.3	-
相模原	11	63.6	36.4	9.1	-	9.1	-	-
横須賀三浦	7	71.4	28.6	28.6	-	14.3	-	-
県央	14	71.4	28.6	14.3	7.1	-	7.1	-
湘南	11	45.5	9.1	45.5	9.1	9.1	9.1	-
県西	4	50.0	-	25.0	50.0	-	-	-
【性・年代別】								
男性	56	51.8	30.4	21.4	14.3	10.7	7.1	-
女性	58	69.0	29.3	20.7	8.6	3.4	1.7	-
男性18～29歳	6	33.3	50.0	16.7	-	-	33.3	-
30歳代	12	66.7	41.7	-	8.3	25.0	-	-
40歳代	15	40.0	26.7	33.3	20.0	13.3	6.7	-
50歳代	15	46.7	13.3	33.3	20.0	6.7	-	-
60歳代	3	66.7	-	-	33.3	-	33.3	-
70～74歳	4	75.0	75.0	25.0	-	-	-	-
75歳以上	1	100.0	-	-	-	-	-	-
女性18～29歳	10	80.0	30.0	20.0	10.0	-	10.0	-
30歳代	12	41.7	66.7	25.0	8.3	-	-	-
40歳代	11	81.8	9.1	27.3	9.1	-	-	-
50歳代	14	64.3	7.1	28.6	7.1	7.1	-	-
60歳代	4	100.0	50.0	-	-	-	-	-
70～74歳	5	60.0	20.0	-	20.0	20.0	-	-
75歳以上	2	100.0	50.0	-	-	-	-	-